

長野県流域治水の取組について



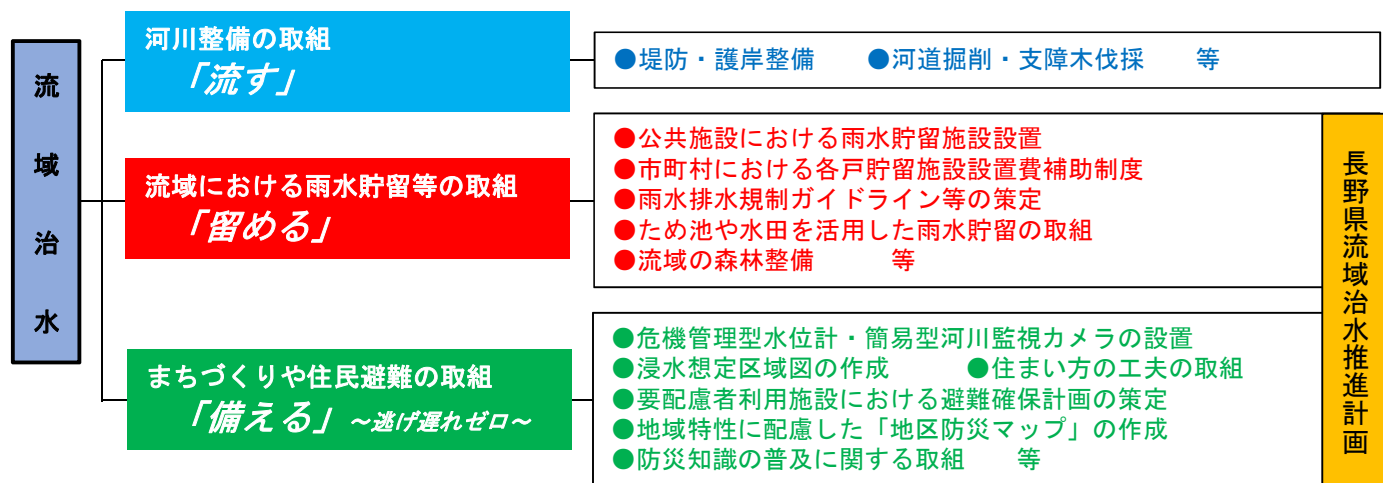
【契機】

- 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨など、近年、水害が頻発化・激甚化している。今後、気候変動の影響により、さらなる水害リスクの増大が見込まれる中、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」への転換が全国的に図られている。
- 長野県では、流域治水に係る各取組について、5か年の数値目標を設定した「長野県流域治水推進計画」を令和3年2月に策定し、計画的・集中的に進めている。



「長野県流域治水推進計画」(令和3年2月策定)

計画期間：令和3～7年度(5か年)
内容：計画期間内で実施する取組目標を定め「流域治水」を推進



令和3年度の主な取組

- 市町村との共同宣言 (R3.5.14)
 - ・市長会、町村会と共同で、流域治水推進に向けた宣言を実施
- 県民への普及啓発活動
 - ・雨水貯留の取組に関するCM、ミニ番組の制作・放送 (R3.6~7)、ポスター、パンフレット、ステッカー等の作成・配布 (R3.8~)
- 企業への普及啓発活動
 - ・県内企業への雨水貯留タンク設置の協力依頼、「長野県SDGs推進企業情報サイト」への掲載 (R3.7)
- シンポジウムの開催 (R3.10.22)
 - ・流域治水の取組促進に向けたシンポジウムの開催
- 雨水排水規制ガイドライン等の作成
 - ・ガイドラインの作成、市町村及び関係者に提供予定
- 公共施設における雨水貯留浸透施設設置
 - ・合同庁舎や交番等の県有施設に雨水貯留タンクを89箇所設置
 - ・市町村の所有する施設での雨水貯留浸透施設設置
- ため池を活用した雨水貯留の取組
 - ・212箇所のため池で約550万m³の容量を確保
- 排水ポンプ車の購入配備
 - ・松本・長野建設事務所に各1台配備済み 諏訪建設事務所に1台配備予定
- 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置、浸水想定区域図の作成
 - ・水位計10基・カメラ100基設置、区域図113河川公表

市町村との共同宣言 (R3.5.14)



県有施設への雨水貯留タンクの設置



令和元年東日本台風災害2年シンポジウム ～「災害復旧・復興」と「流域治水」～

- 日時：令和3年10月22日(金) 14時00分から16時30分
- 場所：長野市芸術館リサイタルホール
- 主催：国土交通省千曲川河川事務所、長野県
- 主な内容：基調講演、国・県からの情報提供
パネルディスカッション
- 出席者：約300名(オンライン含む)



令和4年度の主な取組

- 公共施設における雨水貯留浸透施設設置
 - ・県有施設への雨水浸透施設の設置(グリーンインフラと連携した駐車場の緑化)
 - ・県有施設における雨水貯留タンク設置
 - ・市町村の所有する施設での雨水貯留浸透施設の設置
- シンポジウム開催、CM放送等による県民への普及啓発活動
- 浸水想定区域図の作成
- 流域治水普及啓発に向けた市町村キャラバン
(「雨水排水規制ガイドライン等の作成」の推進)
- 砂防ボランティアによる地域での防災教育
- 排水機場の更新・増強 [農政部]
- ため池を活用した取組の支援 [農政部・建設部]
- 水田貯留の普及啓発 [農政部]

